

事務事業名		橋梁長寿命化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目		
	施策名	20 良好な生活空間の創造		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款	
	基本事業名	01 生活道路の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		01	08	
根拠法令		道路法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		02	02	
所属	部課名	都市整備部建設課		※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分		
	課長名	金野 尚一				A 政策事業	B 施設整備	
	係名	道路管理係	電話			0192-27-3111	C 施設管理	D 補助金等
	担当者	佐藤 光春	内線			314	E 一般(A～D以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<p>市が管理する橋梁314橋について、5年毎に法定定期点検を実施し、不良箇所を早期に修繕することで、橋梁の長寿命化を図る事業である。</p> <p>事務事業の手順としては①5年毎に行う法定定期点検において、不良箇所の発見 ②不良箇所の現場調査 ③損傷度・緊急度の判断 ④修繕設計 ⑤設計書作成 ⑥修繕工事 となる。</p> <p>なお、事業費は主に委託料、工事請負費として支出される。</p>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		
					財源内訳	都道府県支出金		
					人員費	地方債		
						その他		
						一般財源		
						事業費計(A)	0	
					正規職員従事人数			
					延べ業務時間			
					人件費計(B)	0		
					トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア	橋梁長寿命化修繕計画登録橋梁数
橋梁長寿命化修繕計画策定		イ	法定定期点検実施橋梁数
橋梁法定定期点検 141橋		ウ	修繕着手橋梁数
橋梁修繕工事 2橋		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		名称	
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁修繕工事に係る設計委託および工事を発注する。		カ	橋梁長寿命化修繕計画策定対象橋梁数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		キ	法定定期点検対象橋梁数
長寿命化修繕計画策定を要する市管理の橋梁		ク	修繕を要する橋梁(判定Ⅲ以上)
法定定期点検を要する市管理の橋梁		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
修繕を要する市管理の橋梁		名称	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		サ	橋梁長寿命化修繕計画登録率
適正に維持管理される。		シ	法定定期点検実施率
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	修繕を要する橋梁(判定Ⅲ以上)の修繕着手率
安全・快適に移動できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		国庫支出金	千円				58,462	236,500
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円				43,000	174,200
		その他	千円					
	人員費	一般財源	千円				4,832	19,400
		事業費計(A)	千円	0	0	0	106,294	430,100
		正規職員従事人数	人				3	3
		延べ業務時間	時間				240	240
		人件費計(B)	千円	0	0	0	960	960
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	107,254	431,060	
⑤ 活動指標	ア	橋					314	314
	イ	橋					141	-
	ウ	橋					2	19
⑥ 対象指標	カ	橋					314	314
	キ	橋					141	-
	ク	橋					45	45
⑦ 成果指標	サ	%					100	100
	シ	%					100	-
	ス	%					4	42

事務事業ID	1811	事務事業名	橋梁長寿命化事業
--------	------	-------	----------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
平成26年度より橋梁点検が法定点検となり、平成26年、28年にわたり実施した全橋梁の点検結果を基にして、令和元年度にこれまで橋長15m以上の橋梁のみを対象としていた橋梁長寿命化修繕計画を見直し、全橋梁対象とした。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
老朽化が進む橋梁の長寿命化および修繕を促進するため、国からの補助も重点的な配分が行われている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
安全な道路交通の確保のため、修繕等による橋梁の整備を求められている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	修繕により安全・快適に通行できるため、都市環境の向上につながる。	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】		公共施設の橋梁整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】		対象橋梁は市管理の橋梁であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	修繕により橋梁の性能を当初の状態に近づけ、橋梁の寿命を延長することを目的としていることから、これ以上の成果向上の余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	⇒【理由】 ⇒【その内容】		交通の安全性に欠け、安全に利用することができない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	必要最小限の修繕で対応していることから、削減の余地はない。	
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】		必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	一般に供する道路の橋梁であることから、受益者負担になじまない。	

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状維持で継続して事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続して事業を実施する。